

平成 27 年度 インクルーシブ教育システム構築モデル事業 成果報告書 I
 【インクルーシブ教育システム構築モデル地域（スクールクラスター）】

教育委員会名	東京都品川区教育委員会
指定したモデル地域名	源氏前小学校エリア 宮前小学校エリア 鮫浜小学校エリア 浅間台小学校エリア 区内幼稚園・中学校区

概要

地域内の全学校・園数（平成 28 年 3 月 15 日現在） 【単位：校・園】

幼稚園	小学校	中学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校	合計
9	37	15			1	62

【事業概要】

1. モデル地域の特色（特別支援教育に関する事項）

モデル事業の推進に向けて、区独自の巡回相談員を 10 名、家庭支援を行うソーシャルワーカーを 6 名配置し、指導主事及び特別支援教育係との連携を強化し、合理的配慮を行う基礎的環境を整えた。また、「小・中一貫特別支援教育体制推進協議会」を設置し、学識経験者、地域代表者、校長会代表等で、委託事業を、定期的に検討・検証し、本区におけるインクルーシブ教育システム構築事業の充実を目指した。

2. 取組の概要

【スクールクラスターを活用した取組を支援するために教育委員会が行った取組や工夫】

児童が保護者と一緒に通って指導を受ける通級指導制度から通級指導学級の担任が児童の在籍学校を訪問して在籍学校で従来の自立活動と教科の補充指導を行う訪問型制度への改革を推進するために、通級指導学級と在籍学級の連携校を 4 校指定した。また、幼少期からの支援の充実をめざし幼稚園、特別支援学校、療育施設の連携に取組み、円滑な就学支援体制の構築に取組んだ。

【モデル地域内における取組】

合理的配慮協力員を通級指導学級と在籍学校の連携モデル校に配置し、保護者、適応指導教室、区の相談センター等と合理的配慮に関する連絡・調整を進めた。

また、障害のある幼児への訪問・指導、地域の支援リソースとの連携体制を整え、就学前の合理的配慮を小学校、中学校へとつなげる継続的な支援に取組んだ。

3. 成果及び課題

平成 26・27 年度、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」（スクールクラスター）に取り組むことにより、品川区の基礎的環境（通級指導級、学習支援員・介助員制度、学校支援チーム、都費スクールカウンセラー、巡回相談員、専門家巡回相談、特別支援学校等）の連携した支援システム構築を進めることができた。特に、通級指導学級担任による在籍学級訪問指導は、在籍学級担任と連携した特別支援教育推進の重要性を確認することができ、特別支援教育に関する教員の指導力の向上を図ることができた。

平成 28 年度、区内全小学校における「特別支援教室」の開設に向け、平成 27 年度のモデル実施を踏まえた「特別支援教室 実施マニュアル」を作成し、「特別支援教室」が準備すべき教材・基本的な指導内容等について明確にすることができた。

家庭の協力や児童の生活環境への支援が課題であったが、平成 26・27 年度モデル事業の取組の中で、合理的配慮協力員がコーディネートし、在籍学校の担任、通級指導学級の担任と区の生活支援チームや生活福祉課、児童相談所等とのネットワークの構築に取り組むことができた。

就学前の幼稚園・保育園への訪問相談を行うことで、合理的配慮を就学先の小学校につなぐことで幼児・児童の障壁を軽減する取組は、保育課が 28 年度新規事業として取組むことになった。

モデル事業としての成果であるため、全区展開になった場合に新しい取組にモデル事業の成果を変更・調整しながら反映させていくことが課題である。